

「フジサンケイビジネスアイ」に掲載されました

12 成長企業

2011年10月4日(火)

Fuji Sankei Business i.

第三種郵便物認可

ALT 光技術製品の検査装置開発**プロジェクター小型化に貢献****キラリ!**
わが社の商品・サービス

茶の間でおなじみになった光ディスクレコーダーやプリンター、小型プロジェクターと光技術の応用製品が身近にあふれ、高度化の一途をたどっている。こうした製品の心臓部の検査装置を開発しているのが、エーエルティー（ALT、東京都練馬区）だ。

光技術が高度化するにつれ、検査装置に求められる精度もレベルアップしている。情報家電などのメーカーのニーズに応えるため、開発してきた製品のひとつが、「光MEMS（マイクロ・エレクトロニカル・メカニカル・システム）検査システム」だ。

例えばプロジェクターは、光源のレーザー光を微小な鏡に反

射させ、スクリーン上に線状に走らせて画面を構成する。緻密な画像ほど高速になるが、等速で走らせないとゆがみが出て、目的とするクリアな画像が得られない。この検査システムは、スクリーンの代わりにセンサーで光を受け、等速性などの性能を検証する。

新しく開発したのは検査システムの中でセンサーで検出した光信号を分析する、「タイム・インターバル・アナライザ ALT-9C15」。同時に処理できる信号数が、従来の4チャンネルから4倍の16チャンネルにパワーアップした。光を走査するスピードが毎秒1万回を超えるレベルの製品まで測定でき、開発中の次世代製品に求められる分析能力を実現した。従来の4チャンネルタイプは、1万回が上限だった。

次世代に向け、手のひらサイ



開発中の光MEMS検査システムと高野裕社長
＝東京都練馬区

ズの超小型プロジェクターや、車の各種メーター、運転に必要とされる情報をフロントガラスに投影する「ヘッドアップディスプレイ」、外科手術の際に患部を視野全体に広げて見られるメガネタイプの軽量ディスプレイなどが開発されている。

プロジェクターが手のひらサイズならば、場所を選ばず好き

なときにいろいろなコンテンツを楽しめる。さらに小型化が進めば、「ノートパソコンやデジタルカメラ、携帯電話に組み込めるようになる」とALTの高野裕社長は予測する。

車の運転でも前を見ながら目線を動かさずに計器類をチェックすることで安全性が高まり、軽量ディスプレイは手術の正確

さを格段に向上させることが可能になる。

光MEMS検査システムの価格は検査項目で変わるが、小型プロジェクターなどの検査に使う場合、220万円から。新開発のアナライザは150万円。アナライザは今年度10台、来年度は数十台の販売を見込み、需要は広がるとみている。（広瀬洋治）

エーエルティー株式会社<http://www.alt.co.jp>info@alt.co.jp